

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 2 月 27 日 (2024.2.27)

【公開番号】特開 2023-153288 (P2023-153288A)
【公開日】令和 5 年 10 月 17 日 (2023.10.17)
【年通号数】公開公報 (特許) 2023-195
【出願番号】特願 2023-134884 (P2023-134884)
【国際特許分類】

C 0 8 F 2 1 2 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 F 2 1 2 / 0 6

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 2 月 15 日 (2024.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スチレン系単量体と不飽和カルボン酸系単量体とを構成単位として含むスチレン系共重合樹脂であって、

前記スチレン系共重合樹脂中の前記スチレン系単量体単位及び前記不飽和カルボン酸系単量体単位の合計含有量を 100 質量%とするとき、前記スチレン系単量体単位の含有量が 86 質量%以上 92 質量%以下であり、前記不飽和カルボン酸系単量体単位の含有量が 8 質量%以上 14 質量%以下であり、

荷重 50 N、昇温速度 50 / h で測定したビカット軟化温度を T1 () とし、荷重 10 N、昇温速度 120 / h で測定したビカット軟化温度を T2 () とするとき、T1 が 105 以上であり、(T2 - T1) / T1 が 0.061 以上 0.072 以下であり

30

、
Z 平均分子量 (Mz) の重量平均分子量 (Mw) に対する比 (Mz / Mw) は 1.5 以上 2.5 以下であることを特徴とする、スチレン系共重合樹脂。

【請求項 2】

前記不飽和カルボン酸系単量体単位は、メタクリル酸、アクリル酸、無水マレイン酸、マレイン酸、フマル酸又はイタコン酸の単量体単位である、請求項 1 に記載のスチレン系共重合樹脂。

【請求項 3】

前記スチレン系共重合樹脂 (A) は、(メタ) アクリル酸エステル単量体単位をさらに有し、前記スチレン系共重合樹脂 (A) の全単量体単位 100 質量%に対して、前記 (メタ) アクリル酸エステル単量体単位を 5 質量%以下含有する、請求項 1 又は 2 に記載のスチレン系共重合樹脂。

40

【請求項 4】

前記スチレン系共重合樹脂 (A) のメルトフローレート (MFR) は、0.5 (g / 10 min) 以上 5.0 (g / 10 min) 以下である、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のスチレン系共重合樹脂。

【請求項 5】

前記スチレン系共重合樹脂 (A) の厚み 2 mm プレートの曇り度は、1.5 % 以下である、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のスチレン系共重合樹脂。

50

【請求項 6】

請求項 1 に記載のスチレン系共重合樹脂とともに、ゴム変性スチレン系樹脂及び / 又はスチレン系樹脂を含有する樹脂組成物。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のスチレン系共重合樹脂、又は請求項 6 に記載の樹脂組成物から構成される非発泡シート。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のスチレン系共重合樹脂、又は請求項 6 に記載の樹脂組成物から構成される発泡シート。

【請求項 9】

請求項 1 に記載のスチレン系共重合樹脂、又は請求項 6 に記載の樹脂組成物から構成される二軸延伸シート。

10

【請求項 10】

請求項 7 ～ 9 のいずれかに記載のシートを成形してなる食品包装容器。

20

30

40

50